

- ・ 国への災害報告（7月7日）

（県、市町村等）

○河川・道路等公共土木施設 67箇所（59箇所、8箇所）

○農地・林道等関係施設 165箇所（0箇所、165箇所）

---

計 232箇所（59箇所、173箇所）

- ・ 上記について国交省、農水省へ報告
- ・ 併せて、復旧工法等について随時協議

（その他、小規模なもの等については、県単独予算等で対応予定）

# 今後の予定

( ・ 6月28日 災害発生)

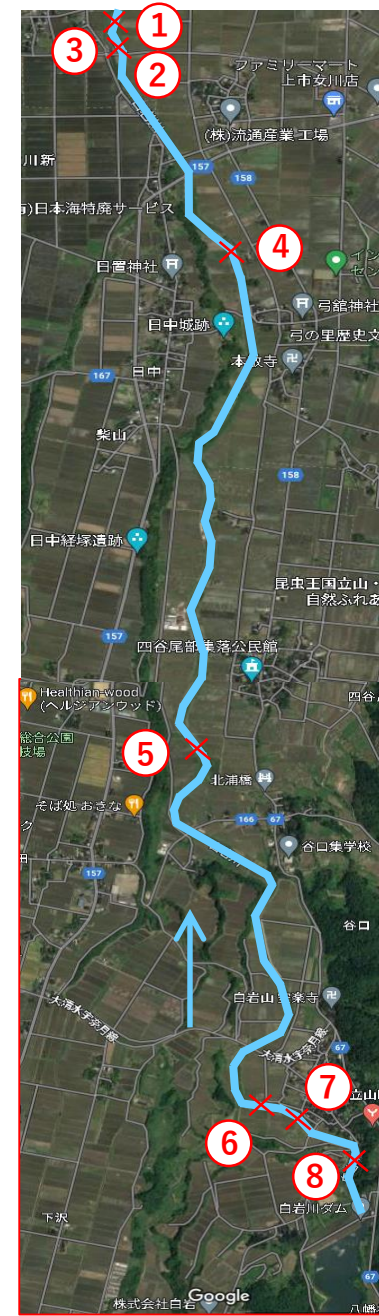
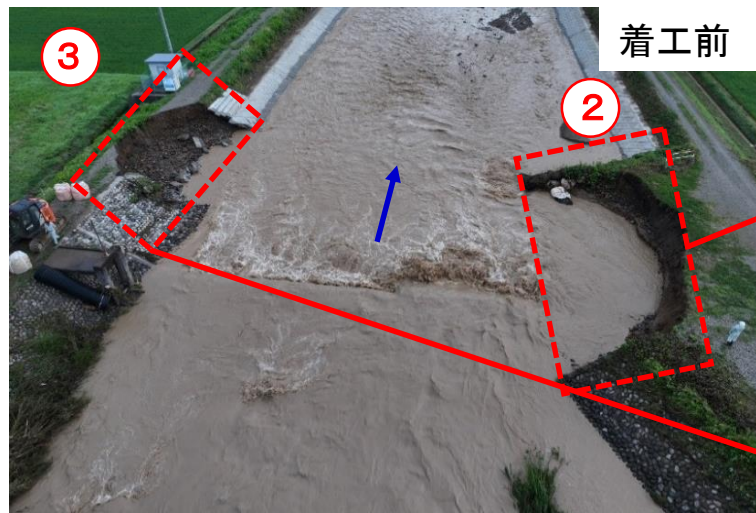
( ・ 7月7日 : 国 ( 国交省、農水省 ) への被害報告)

- 被災から2ヶ月を目途 : 災害査定
- 査定後 : 準備が整い次第復旧工事発注

※上記のうち、施設の損傷や人家等の立地の状況を踏まえ、  
必要な箇所において応急対策を実施中

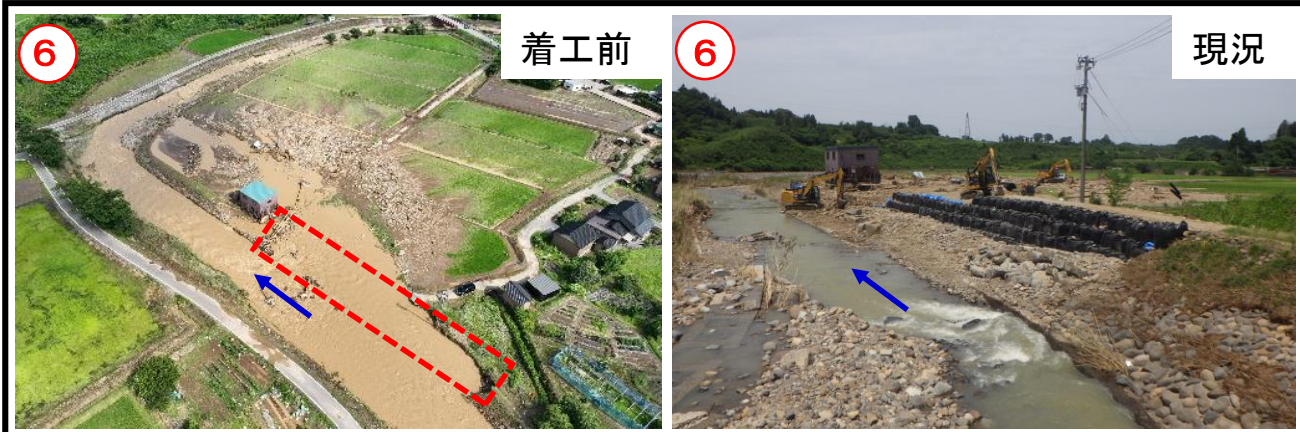
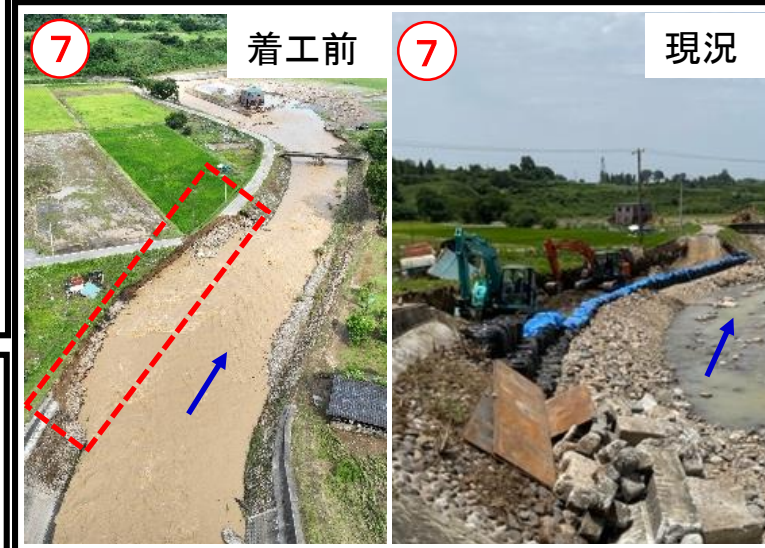
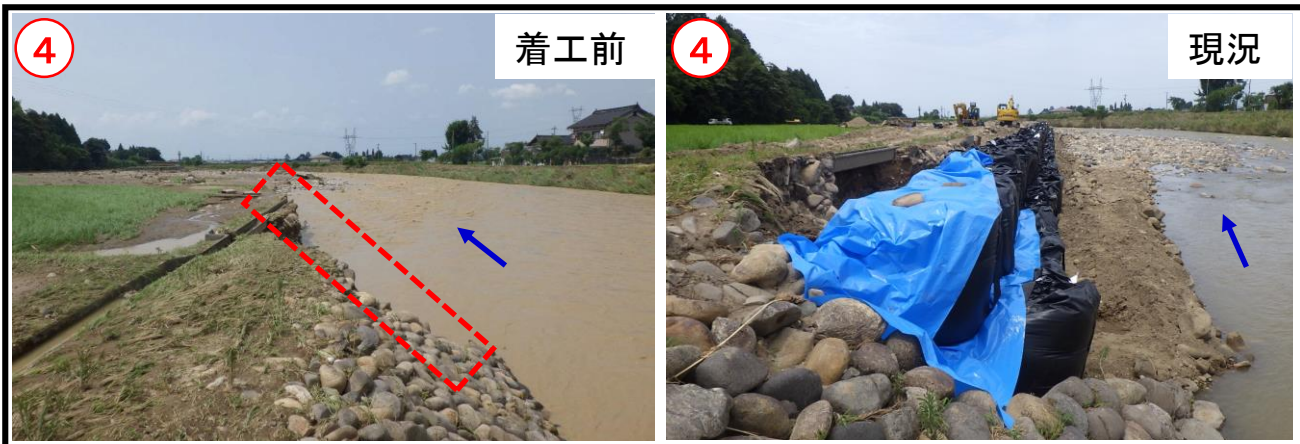
# 白岩川の応急対策の状況 (1/2)

7月7日現在



# 白岩川の応急対策の状況 (2/2)

7月7日現在



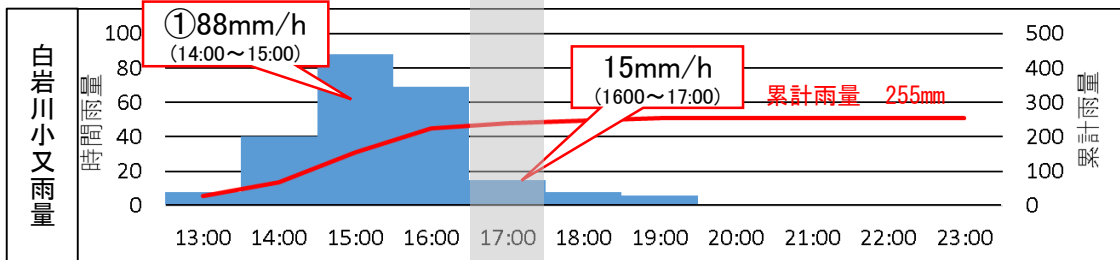
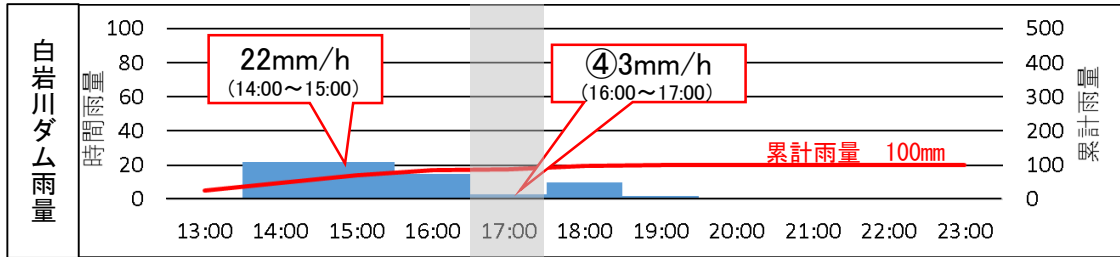
# 今回の降雨の状況（速報値：最大時間雨量）

- ・ 立山町、上市町の山間部を中心とした局所的な豪雨であった。
- ・ 白岩川沿いの2つの雨量観測所（白岩川小又、白岩川ダム）においても降雨状況に大きな差が見られた。

6月28日0時からの24時間で記録した1時間当たりの降雨量の最大値を観測所ごとにプロット



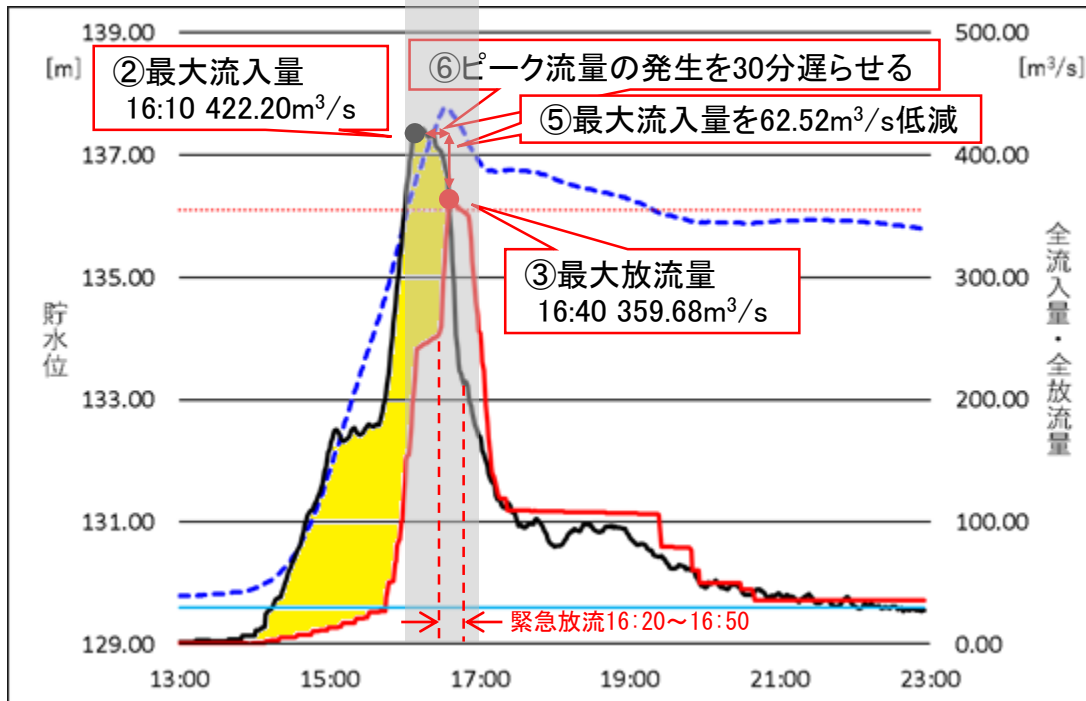
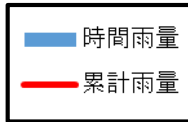
# 白岩川ダムの効果 (1/2)



6/28(水) 12:00



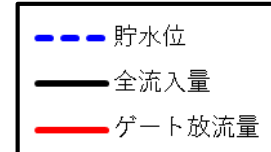
6/28(水) 16:30



- ①ダム上流の最大時間雨量は14:00~15:00の88mm/h
- ②最大流入量は16:10の約422m³/s
- ③最大放流量は16:40の約360m³/s

④この時間帯16:00~17:00のダムでの時間降雨量は3mm/hを観測

- ⇒⑤最大流入量の約14.8%にあたる約62m³/sを低減
- ⑥ピーク流量の発生を30分遅らせる



# 白岩川ダムの効果 (2/2)

平常時の状況



7月2日 9:00時点



ダム堤体



ダム堤体



○ダムにより流木を捕捉することで、洪水の軽減だけでなく、  
下流河川での流木による被害の軽減にも貢献

# 今後の対応(1/2)

## 1. 今回の事象

- 局地的な大雨が短時間に発生（最大101mm/h、ダム上流88mm/h）
- それに伴い、ダムの水位が急激に上昇し、異常洪水時防災操作（いわゆる緊急放流）への移行の必要が生じた
- 急激な水位上昇だったため、移行に係る情報提供に猶予がなかった

→市町村、住民への情報提供に課題



# 今後の対応(2/2)

## 2. 次期出水への備え（県管理16ダム）

①ダムの操作方法の確認

②関係機関への通知、住民への周知方法の確認

③警報局及びサイレン・スピーカ等、警報装置の作動状況の確認

## 3. 今後の対応

- ・国や市町村など関係機関等の意見を伺い  
情報提供のあり方について検証